



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7705 URL https://www.gls.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長見 善博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 芹澤 修 (TEL) 03-5323-6633
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,851	18.4	2,734	27.1	3,113	43.4	1,526	37.2
2022年3月期第2四半期	15,075	14.1	2,150	23.9	2,171	16.7	1,113	8.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,651百万円(42.0%) 2022年3月期第2四半期 1,867百万円(57.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	148.81	—
2022年3月期第2四半期	108.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	46,339	33,533	60.8
2022年3月期	42,975	31,529	62.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 28,180百万円 2022年3月期 26,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,220	15.4	6,010	25.0	6,460	29.2	3,470	24.1	338.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	11,190,000株	2022年3月期	11,190,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	930,224株	2022年3月期	930,224株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	10,259,776株	2022年3月期2Q	10,259,822株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による「まん延防止等重点措置」は解除され経済活動に持ち直しがみられたものの、7月以降は新規感染者が急増し、また、ロシアによるウクライナ侵攻等の地政学的リスクの影響及び為替相場の急激な円安進行により、原油等をはじめとするエネルギー資源や原材料価格が高騰しており依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下におきまして、売上高につきましては、分析機器事業と自動認識事業は電子部品等の調達に苦心しましたが、新たな部材調達先を確保するなどし、前年同期比で微増の結果となりました。また、半導体事業は、半導体製造プロセスにおける消耗品の底堅い需要により大幅に増加し、全ての事業で前年同期に比べ増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、17,851百万円(前年同期比 18.4%増)となりました。損益につきましては、営業利益 2,734百万円(前年同期比 27.1%増)、経常利益 3,113百万円(前年同期比 43.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,526百万円(前年同期比 37.2%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(分析機器事業)

分析機器事業におきましては、世界的な規模で半導体や部材供給不足等が心配されており、自社装置及び他社装置の納期遅延の影響が出ておりますが、売上高は前年同期を上回ることができました。

国内売上高は、消耗品が環境、食品、化学工業、製薬など多くの分野が好調で増収となりました。特に試料調製及びガスクロマトグラフ関連製品、固相抽出関連製品が好調で増収となりました。装置はカーボンニュートラル分野におけるガスクロマトグラフ関連製品、システム関連製品が好調でしたが、他社装置が納期遅延の影響により低調で装置全体では減収となりました。

海外売上高は、中国のロックダウンや、ウクライナ情勢の影響もありましたが、OEM製品やインドをはじめ中近東、アフリカなど多くの地域で液体クロマトグラフ用カラムが好調でした。また、為替の円安影響等もあり増収となりました。

なお、円安の加速、原材料価格やエネルギーコスト等の上昇による負担増が、当事業の自助努力で吸収できる範囲を超えたことから、自社製品を対象に4月受注分より値上げを実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 7,339百万円(前年同期比 6.9%増)、営業利益は 653百万円(前年同期比 14.2%増)となりました。

(半導体事業)

半導体業界におきましては、5GやAI、IoT、自動運転等の需要の高まりから、半導体の供給不足が続く状況となりました。また、足元では一部に在庫調整の動きが見られるものの、各メーカーの投資意欲は継続しており、今後も半導体市場は着実に拡大していくものと思われまます。

このような環境の中、当事業では、これまでに蓄えた豊富な受注残高、完成した中国第三工場の生産寄与を含む工場の高稼働による量産効果、さらに為替が円安方向で推移したことなどから、大幅に増収、増益となりました。また、受注残高は過去最高レベルの水準で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 9,827百万円(前年同期比 29.8%増)、営業利益は 2,065百万円(前年同期比 33.7%増)となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、部材調達に苦心しながらも市場品調達力及び製造ライン強化、他機種への代替え提案などを進めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

製品分類毎の売上高は、「モジュール」、「完成系」、「タグカード」が伸び、「ソリューション」はコロナ禍による設置工事要員不足などが要因となり大型商談が延期されたことにより前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 684百万円(前年同期比 7.4%増)、営業利益は 11百万円(前年同期比 59.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は原材料及び貯蔵品等の棚卸資産の増加などにより 27,149百万円(前連結会計年度末に比べ 2,320百万円の増加)となりました。固定資産は有形固定資産その他の増加などにより 19,190百万円(前連結会計年度末に比べ 1,044百万円の増加)となりました。その結果、資産合計では 46,339百万円(前連結会計年度末に比べ 3,364百万円の増加)となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は短期借入金及び買掛金等の仕入債務の増加などにより 9,761百万円(前連結会計年度末に比べ 1,007百万円の増加)となりました。固定負債は長期借入金の増加などにより 3,044百万円(前連結会計年度末に比べ 353百万円の増加)となりました。その結果、負債合計では 12,805百万円(前連結会計年度末に比べ 1,360百万円の増加)となりました。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は利益剰余金の増加などにより 33,533百万円(前連結会計年度末に比べ 2,003百万円の増加)となりました。自己資本比率は 60.8%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,119,266	6,420,447
受取手形	780,042	561,872
電子記録債権	2,256,248	2,473,618
売掛金	7,316,296	7,033,396
商品及び製品	2,088,095	2,797,836
仕掛品	3,028,839	3,647,828
原材料及び貯蔵品	2,858,634	3,844,612
その他	390,359	376,873
貸倒引当金	△8,518	△7,168
流動資産合計	24,829,265	27,149,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,861,342	6,953,637
土地	4,159,780	4,223,187
その他（純額）	3,618,499	4,641,861
有形固定資産合計	14,639,622	15,818,685
無形固定資産	466,390	481,173
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	465,129	474,684
その他	2,576,954	2,418,854
貸倒引当金	△2,147	△3,228
投資その他の資産合計	3,039,936	2,890,311
固定資産合計	18,145,949	19,190,169
資産合計	42,975,215	46,339,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	500,129	457,335
電子記録債務	1,592,723	1,415,929
買掛金	1,814,774	2,136,621
短期借入金	2,113,390	2,821,440
未払法人税等	776,235	1,074,316
賞与引当金	726,635	760,976
その他	1,229,997	1,094,496
流動負債合計	8,753,886	9,761,115
固定負債		
長期借入金	1,846,707	2,143,441
役員退職慰労引当金	104,394	115,471
退職給付に係る負債	149,375	161,915
その他	591,248	623,960
固定負債合計	2,691,725	3,044,788
負債合計	11,445,612	12,805,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,815,761	1,814,923
利益剰余金	23,089,602	24,103,373
自己株式	△509,615	△509,615
株主資本合計	25,603,543	26,616,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601,005	495,246
繰延ヘッジ損益	-	1,941
土地再評価差額金	△312,234	△312,234
為替換算調整勘定	669,870	1,200,099
退職給付に係る調整累計額	241,294	178,982
その他の包括利益累計額合計	1,199,935	1,564,035
非支配株主持分	4,726,124	5,353,072
純資産合計	31,529,603	33,533,584
負債純資産合計	42,975,215	46,339,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	15,075,689	17,851,718
売上原価	9,862,960	11,517,256
売上総利益	5,212,729	6,334,462
販売費及び一般管理費	3,061,801	3,599,748
営業利益	2,150,928	2,734,714
営業外収益		
受取配当金	18,739	27,735
為替差益	-	302,199
不動産賃貸料	53,411	53,411
その他	29,927	39,909
営業外収益合計	102,078	423,256
営業外費用		
支払利息	16,403	14,989
為替差損	27,908	-
不動産賃貸原価	34,740	25,475
その他	2,861	3,519
営業外費用合計	81,914	43,984
経常利益	2,171,091	3,113,986
特別利益		
固定資産売却益	100	-
投資有価証券売却益	0	6,920
特別利益合計	100	6,920
特別損失		
固定資産除却損	12,530	1,962
投資有価証券売却損	-	136
投資有価証券評価損	3,863	-
特別損失合計	16,393	2,098
税金等調整前四半期純利益	2,154,798	3,118,807
法人税、住民税及び事業税	624,445	1,010,664
法人税等調整額	67,626	56,095
法人税等合計	692,072	1,066,760
四半期純利益	1,462,726	2,052,047
非支配株主に帰属する四半期純利益	349,560	525,287
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,113,165	1,526,759

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,462,726	2,052,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,180	△104,819
繰延ヘッジ損益	△275	1,941
為替換算調整勘定	335,480	764,779
退職給付に係る調整額	△65,984	△62,313
その他の包括利益合計	404,401	599,588
四半期包括利益	1,867,127	2,651,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,410,991	1,890,349
非支配株主に係る四半期包括利益	456,136	761,287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これにより、当社が保有する投資信託財産が金融商品である投資信託(契約型及び会社型の双方の形態を含む。)について、市場における取引価格が存在せず、かつ、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がないため、基準価額をその時価とすることとしております。